



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.598 2021.3.24

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

これまで積み上げてきた財政調整基金を活用し

暮らしを支える予算に

日本共産党・新社会党の予算組み替え提案



医療・介護への支援 1億5000万円

- ・ワクチン接種協力病院への補助を増額
- ・介護従事者へ緊急手当を支給



暮らしへの支援 5億6100万円

- ・ひとり親家庭へ臨時特別給付金を支給
- ・小中学校給食費は1人目から半額に
- ・国保料の子どもの均等割軽減を前倒し
- ・高校、大学などへの入学準備支援金支給



営業への支援 1億円

- ・中小事業者へ区独自の支援金を支給
- ・プレミアム付区内共通商品券の追加発行



緊急財源対策の見直し 1200万円

- ・コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーを予定通り増員配置

介護保険料の引き下げ 3400万円

日本共産党北区議員団と
新社会党が共同で

予算組み替え提案

23日の区議会第1回定例会最終日、日本共産党北区議員団は新社会党の福田光一議員とともに、北区新年度予算に対する組み替え動議を提出しました。財政調整基金約8億円を活用し、新型コロナウイルス緊急追加対策を提案するものです。(のの山けん)

党区議団の山崎たい子議員が提案理由の説明に立ち、組み替えの内容と算出根拠を紹介(囲み参照)。せいの恵子議員は動議への賛成討論で、いずれの項目もコロナ禍に及ぶ影響を懸念し、いざという時に活用する提案だと強調しました。

福田議員も、浮き彫りになった貧困と格差解消のために必要な組み替えだと訴えました。公明の議員が組み替え予算への反対討論を行い、採決では、自民・公明などの反対多数で、動議は否決となりました。

公明の議員が組み替え予算への反対討論を行い、採決では、自民・公明などの反対多数で、動議は否決となりました。

必要とする
女性に

生理用品を無料で配布

北区は3月25日から4月9日まで、北とびあのスペースゆうなど7カ所で防災備蓄用の生理用品を希望する女性に無料で配布します。先の予算特別委員会では共産党のせいの恵子議員が「生理の貧困」への対応を求めています。(のの山けん)



志茂 3丁目 共同建替住宅が完成



防災街区整備事業を活用 老朽木造家屋解消に新手

志茂3丁目が進められていた密集木造家屋の共同建替事業が、この春完了します。防災街区整備事業を活用した北区初の取り組みで、防災まちづくりの新たな手法として期待されます。(のの山けん)



当該地域は、木造住宅が密集し、いざという時に、消防車や救急車が入れない上、区道に接道していないため個別の建替えができない老朽家屋が多数残されている場所でした。

2018年3月に地権者の発意で「防災街区整備事業」の準備組合が設立され、共同建替えの取り組みがスタート。同年12月に都市計画決定、翌年には組合が設立されました。21名の地権者が所有していた木造家屋を取り壊し、このたび、地上3階、12戸の共同住宅が完成しました。

「しもさん広場」を余剰地に整備

新たな住宅に住まず、補償金をもらって区域外へ転出する地権者が予想より多く出て建設戸数が減ったため、余剰地には「しもさん広場」が整備されました。



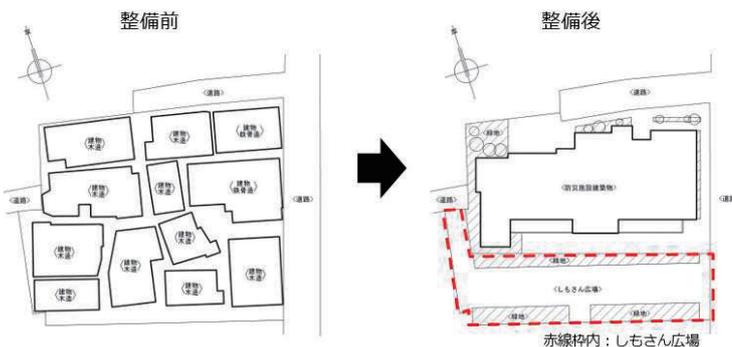
共同住宅(右側の建物)に隣接する「しもさん広場」

同広場は、日常は地域住民の憩いの場として活用されるほか、災害時には地区西側の避難路としても機能します。

地権者の同意が事業成否のカギ

防災街区整備事業は、防災性の向上を主な目的とし、市街地再開発事業の仕組みを活用した共同建替え手法です。都市計画により事業地区を位置づけることで、地権者の3分の2以上が賛同すれば、事業を進め

ることが可能になります。老朽化した木造住宅の密集を解消するため、新たな手法として期待ができる一方、賛同しない地権者を意思に反して事業に参加させる仕組みにもなっているだけに、丁寧な説明と納得を通じて、すべての地権者の同意が得られるかどうかは事業の成否を握ることになりそうです。



整備前と整備後の見取図(地域開発特別委員会資料より)